

東京ふる里岩内会会報

■発行 東京ふる里岩内会
 ■発行日 2025年10月1日
 ■発行所 松代洋子
 ■住所 東京都千代田区六番町
 3-5-403
 ■電話 090-1885-6480
 ■FAX 03-6380-4472
 ■メール: y-wens@orion.ocn.ne.jp

楽しい今日と、明るい明日が見える

No. 35 / 2025



「温泉の町」岩内を盛り上げていきましょう。

東京ふる里岩内会 会長 松代洋子

今年も記録的な猛暑の夏でした。皆様にはお変わりなくお元気でお過ごしでしょうか。

私たちが北海道で過ごしていた頃は涼しい夏でした。海で泳げるのもわずかな日だけで、海から上がると焚火で身体を温めたのを記憶しております。お盆が過ぎると早秋風で冬が近いことを思わせました。それも遠い昔の話で、温暖化のせいでしょうか、今や北海道も記録的な暑い夏。

昨年、任期途中で会長に就任してから無我夢中の1年でした。長い会員歴のなかで知った会員の方々が段々いなくなつて寂しい限りです。昭和29年の大火の前の岩内を知っている人も少なくなりました。一方で岩内会が若くなつてのを頼もしくも思っております。岩内会だけでなく、管内のふる里会との連携を密に、と声を掛けましたところ、昨年は観桜会に小樽会、ニセコ会、くつちゃん会、余市会の皆様にご参加いただきました。今年度はさらに新年会にもご参加いただきました。何時もの家野さん手作りの「鯨付け」には皆さん、大喜び、感心しきりでした。今回

そのレシピをご紹介させていただきました。まだ凍っているのをしゃりしゃりとの歯ごたえも懐かしい思い出です。

余市会からは国会議事堂見学会のお誘いをいただきました。岩内会からは会員5名が参加。国会議事堂見学だけでなく、余市出身の中村衆議院議員にはご挨拶だけでなく、後志管内の現況をお話いただき、貴重ないい勉強になりました。くつちゃん会からは屋形船での東京湾クルーズと懇親会のご案内をいただいております。楽しみにしております。

各ふるさと会とも会員の高齢化に伴い、会員の減少が最大の問題となっております。これからは会それぞれイベントを会員同士、一緒に楽しみながら交流を深めて、横の繋がりを強めていければ、と願っております。

会員の澤口さんのご尽力のお陰で、一山本関応援観戦も恒例になりました(詳細は佐藤洋さんの記事を)。

鮮やかなグリーンのまわしでの土俵上の一山本関は華というか何かオーラを感じるの私だけではないでしょう。応援しているのは

私たち岩内組だけかと館内を見渡すとあちこちで「一山本」のたおるが目にはいり、嬉しく、喜んでおります。北海道出身の関取は一山本関だけなので岩内だけでなく、後志管内のふる里会、そして北海道連合会をあげての応援体制ができれば、と願っております。連日、満員御礼でチケットの入手が難しくもありませんが、テレビ観戦では得られない臨場感の中での応援は楽しいものです。今や一番の観光大使・一山本関の益々の活躍を応援して行きたいと思っております。

観戦後、未だ熱い余韻の残る中、「巴渦」で美味しいちゃんこ鍋を囲んでの相撲談義に花を咲かせるのも恒例でしたが、5月場所を最後に閉店となつてしまったのは残念です。

今まで、岩内は鯨で代表される海の幸のイメージでした。今、それが温泉で代

表される町岩内に。いいお湯のあまさと美味しい海の幸に舌鼓を打つ、酒「海」と「山」もあります。忘れてはならないのは歴史ある文化の町、芸術の町でもあること。「温泉の町岩内」皆で応援していきましょう。



新たなチャレンジを

岩内町長 木村 清彦

東京ふる里岩内会の皆様、関東方面は暑い日が続いていることと
思いますが、いかがお過ごしで
しょうか。

この原稿を書いている6月の北
海道は過ごしやすい初夏の季節を
経て、いよいよ本格的な夏の訪れ
を感じさせる日も多くなつてしま
した。これから夏の風物詩となつ
ている「岩内神社例大祭」「いわな
い怒涛まつり」とお祭りが続きま
すが、今年もその時期が近づいて
きたことを実感させる陽気となり
つつあります。

会員の皆様には、日頃より会員
相互の親睦と連帯のもと、郷土岩
内に寄せる深い想いを胸に、物心
両面にわたり様々な形でご支援と
ご協力を賜り、心から感謝と御礼
を申し上げます。

昨年は、岩内町にとってさまざ
まな試みが形となった1年であり
ました。神社通りに桜が舞い散る
春先には、初代梅澤町長が造成し
た「含翠園」が風致公園として現
代に蘇り、夜桜のライトアップと
合わせて訪れた多くの方々に風情
あふれる景観を楽しませてくれま
した。

7月にオープンした海水浴場
「いわないマリンビーチ」では、初
日から心待ちにしていた多くの家

族連れや観光客等で賑わいをみせ、
砂浜や波打ち際で遊んだり、元氣
に泳ぎまわる子どもたちの姿、
パーベキューを楽しむ家族やグ
ループなど連日多くの方々に利用
していただき、新たな試みの手応
えを感じさせるものとなりました。

今年にはビーチのさらなる有効活
用として、本格的な海水浴シーズ
ンを控えた6月からビーチバレー
ボールの各種大会が開催されます。
迫力あるプレーが期待できる全日
本選手権大会の予選会や、これか
らの活躍が見込まれる高校生や中
学生が競う大会などが催される予
定となつており、こうした取り組
みが「いわないマリンビーチ」は
元より本町の知名度アップや新た
な岩内ファンの開拓、町民のス
ポーツ活動の裾野が広がる一環に
なつてくれれば幸いです。

また、東京ふる里岩内会とも
に本町の観光大使を務めていただ
いております大相撲の一山本関の
活躍も、地元を盛り上げる大きな
励みになっていきます。前頭4枚目
に番付を上げて挑んだ3月場所で
は、横綱豊昇龍をすくい投げで破
る初金星をあげ、町民を大いに沸
かせてくれました。会員の皆さん
の中にもなじみのある方が多いこ
とと思いますが、地元の子どものた

ちを対象とした「わんぱく相撲岩
内場所」は、一山本関の勇姿に憧
れる子どもたちの申込みが相次ぎ、
前年比3倍以上にもなる60名あま
りの出場者を記録し、会場となつ
た岩内西小学校の体育館は熱気に
包まれました。一山本関は6月下
旬に本町に凱旋し、岩内地方文化
センターにて握手会の開催が予定
されており、子どもたちをはじめ
としたファンの喜ぶ顔が目に見え
びます。

そして、令和8年4月に開校予
定の「岩内中央学園」の準備もい
よいよ大詰め段階に差し掛かっ
てきました。工事の進捗とともに
旧中央小学校の面影は少しずつ薄
れ、岩内中央学園としての新たな
校舎の佇まいが徐々に姿を現して
きました。新たな学校では、本町
についてさまざまな観点から学習
し、故郷を大切に思う気持ちを持
むための独自のカリキュラムとな
る「まちづくり科」も導入予定と
なっており、9年間の学校生活が
地域の大切な宝である子どもたち
にとって心身に大きく成長してい
くための大切な基礎づくりとな
るよう、着実に準備を進めてまい
ります。

町では、今後もさまざまな施策
や事業を通じて私たちのふるさと

である岩内町が私たちの子や孫、
その先の世代まで愛される郷土と
して発展を続けていくことができ
るよう、しっかりとしたビジョン
を持つて町政を進めて参ります。
時代はめまぐるしく変化しており
ますが、町民の健やかな暮らしを
第一に、私たちの「ふる里」を後
世に引き継いで参ります。

会員の皆様には、本町に対して
変わらぬご支援とご協力をお願い
申しあげますとともに、東京ふる
里岩内会のみならずのご発展、会
員皆様のご健勝とご多幸を心から
お祈り申し上げ、ご挨拶とさせて
いただきます。
追伸…11月の総会で皆様と元気に
再会できることを心から楽しみに
しております。

東京ふる里岩内会

令和七年度役員名簿

会 長	松代洋子	副会長 (事務局長)	高松庫雄	理 事	下田和房	住吉義弘	相原正利	谷口弘子	吹田久良	本村和也	阿部英子	志尾明洋	高橋りょう子	監査役	野村健司	鈴木金三	辻博行	名古屋常駐 名誉顧問	木村清彦	中村尚武	和泉剛	佐藤幸一	川端健一	中鉢繁	大石浩之	顧 問	
-----	------	---------------	------	-----	------	------	------	------	------	------	------	------	--------	-----	------	------	-----	---------------	------	------	-----	------	------	-----	------	-----	--

岩内町の明るい話題

今、いわない温泉が熱い！

昨年12月6日に東京都で開催された温泉総選挙2024で、温泉地としていわない温泉が美肌部門で全国第3位（北海道では第1位）となり、温泉宿・ホテル総選挙各部門賞では、一人旅部門で「いわない温泉高島旅館」が全国第1位になるなど、いわない温泉が掘り当てられてから節目の50年を迎えた年に脚光を浴びました。

また、一昨年の同選挙では、温泉宿・ホテル総選挙各部門賞では、うる肌部門で、「いわない温泉高島旅館」が全国第2位となり、省庁賞では温泉地としていわない温泉が総務大臣賞を受賞しました。

町では、これまで円山地域の温泉旅館と観光協会などと連携しながら、いわない温泉のブランディングなどに努めてきた成果が徐々に始まってきたと感じております。皆様にはぜひ、今年の夏から秋にかけて行われる温泉総選挙2025で「いわない温泉」へ投票していただき、ふる里岩内への応援をどうぞよろしくお願いいたします。



温泉総選挙2023 総務大臣賞受賞式

岩内中央学園の開校に向けて

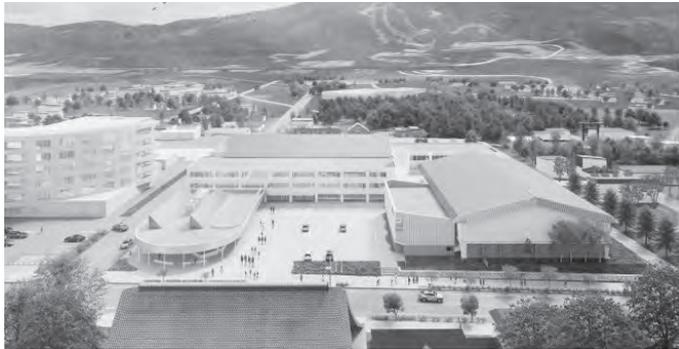
校歌の制作者が決定！

4つの小中学校を統合した義務教育学校「岩内中央学園」は、現在、令和8年4月の開校に向けて、建設工事をはじめ新しい学校経営に向けた各種準備を進めている中、校歌の制作者が決定しました。

作詞は、岩内町出身で詩人・美術評論家の「柴橋伴夫さん」、作曲は、ピアニストとして国内外でご活躍されている岩内町の観光大使でもある「西村由紀江さん」です。

お二人には、現在、制作を進めていただいております。令和7年度中の完成を予定しております。

学校教育目標である「ふるさと岩内を愛し、志高く夢の実現に向かう」の達成に向けて、子どもたちが歌う新しい校歌を耳にする日が待ち遠しいです。



義務教育学校 岩内町立岩内中央学園 完成予想図

いわないマリナーズでビーチ

バレーボール大会が開催されます！

旧フェリー埠頭共和町側で開設した海水浴場「いわないマリナーズ」では昨年、北海道ビーチバレーボール連盟からの打診を受け、地元企業のご協力もあり、マリナーズの砂浜に重機を入れてビーチバレーボール用のコートを作りました。そこで、全国のビーチバレーボール大会に出場する北海道代表チームの強化合宿が行われるなど、その後も大会誘致に努めてきました。

こうした中、今年の道内で開催される大会スケジュールが発表され、ビーチバレーボール大会の11大会中、8大会がマリナーズで開催されることになりました。本年は多くの選手や大会関係者、観客がマリナーズを訪れ、きっと

昨年よりも暑い夏になると期待しています。大会に出場する選手の皆様、岩内バレー！



強化合宿 プロビーチバレーボールDOTSの選手と北海道代表チームの選手達

第四十五回 東京ふる里岩内会総会

所沢在住 事務局長 高松 庫雄

令和六年十一月九日（土）アルカディア市ヶ谷にて「東京ふる里岩内会」発足四十五周年記念大会を開催しました。

冒頭、甚大な被害をもたらした昭和二十九年九月の岩内大火から復興七十周年と節目の年となり、岩内町で開催された記念式典で使用されたビデオをお借りし放映いたしました。

参加者は張り詰めた雰囲気での岩内大火の映像と写真を凝視し、被害の甚大さに当時の人々の苦難を思いやるように会場は静まりかえっております。（私が生まれ

た七ヶ月後に発生し、自宅は相生であつたため被災は免れました）

総会は、本村事業部長の司会により、松代会長、木村町長の挨拶を戴き、事務局から令和六年度事業・会計報告を行い、令和七年度事業予算（案）の説明、役員移動と選任を承認頂きました。

また、近年の諸物価高騰に伴う経費の増大に対し、今後の岩内会を健全で円滑運営するため、発足当時から据置いてきた年会費の改定を提案し、会員からの質問と要望に丁寧に説明し、ご理解を頂き全会一致にて承認を頂き総会を無

事終了することが出来ました。一時の休憩時には、参加者名簿を携えテーブルを廻り、彼方此方で個人を確認し、旧交を温める光景がみられました。

懇親会は、引き続き本村事業部長の司会で進行し、新旧会長交替セレモニー、東京小樽会会長、成田芳生様による乾杯の発声、北海道東京事務所参事、中村奈津子様と北海道ふるさと連合会事務局長、奥山範夫様の来賓挨拶を頂き且つ、その他の来賓の方々を紹介しました。その後、今年度新規会員十一名を紹介し、一人一人壇上で挨拶頂き緊張も解れたところで中村顧問のハーモニカ演奏に聞入り、和やかに進行しました。

そして参加者の関心事の大福引き抽選会（岩内町の企業・団体から提供頂いた物品の抽選）は志尾広報担当の司会（相原総務部長、谷口総務部理事の補助）で進行し、当選番号の読み上げの度に歓声とため息で賑わいの絶頂を迎えておりました。

懇親会の締めは、忠鉢顧問のハーモニカ演奏で「ふるさと」を全員で合唱し、「来年も必ず」と誓い合い、最後に司会者から産直販売新年会、観桜会のイベント情報の紹介と参加依頼を御願ひし、盛会の内に閉幕することが出来ました。



その後場所を変え、役員と参加者有志による反省会では、次回に向けての改善と対策の意見交換を行い盛り上がりました。

※この度の総会が盛会に開催さ

れましたのは、岩内町をはじめ岩内町の企業団体の皆様から多大なる無償提供とご援助を戴いた賜と改めて感謝を申し上げます。

本当にありがとうございました。



ふるさとを想う心がつなぐもの

仙台市在住 佐藤 美弥子

私は現在、仙台在住のヨガ療法士として、カルチャーセンターを中心に講師活動を行っており、県下の教職員研修や依存症・障がい者支援施設などでも、ヨガをお伝えしています。

今年3月末、東京ふる里岩内会に初めて参加させていただきましたが、皆さまが温かく迎えてくださり、遠く離れていても、ふるさとを想う心がつなぐていることを実感し、参加して本当によかったと思います。ふるさとの記憶や想いを分かち合いながら、普段使うことのない岩内弁に触れ、懐かしい故郷の風景を思い出しま

した。ニセコや倶知安、余市からも参加してくださった方がいて、何年かぶりで、後志地方という言葉が自然と心に浮かびました。岩内は昔、ニシン漁でにぎわった漁師町でした。私が小さかったころ、家の裏には漁師の家があり、冬の寒い時期には大量の助宗（すけそ）が水揚げされ、外につな

がっているせいぞ場の揚戸を持ち上げる、大量の魚が流れ込んできて、腹を裂いて、大人たちがたらくこと白子を取り出す作業が面白くて、よく見に行ったものでした。その手際の良さは、寒さも忘れる

程で、あの光景はいまも鮮明に思い出されます。夏の夜には、両親の部屋からイカ釣りの漁火が見え、今思い出しても美しい光景でした。朝になるとリヤカーを引いて「イガ、イガ」と売り歩く声が町に響いて、琥珀色に透き通ったイカを、墨をはかれながら、母が大量にさばいてくれて、それをお腹いっぱい食べて学校に行っていました。

今も「やっこさ獲れたよ」と魚を送ってくれる幼馴染がいますが、（たまたま昨日、宗八、ホッケの開きに丸干し、赤カレイの珍味など、どっさり届きました。）岩

内では今、漁獲が極端に少なくなっていて、7月に開かれる軽トラ市に出す魚がなくて、16日からはナマコ漁が始まるからますます魚が手に入りにくくなると思っています。

友の言葉の端々からも、時の流れを感じずにはいられません。私が生まれて2か月後、町の大部分を焼失した岩内大火がありました。まだ首も座っていない私を、祖母が初めておんぶして、必死で火の粉が飛び交う中を逃げ、やっとの思いでたどり着いた親戚の家にも火が回り、祖母は「この子を自分の背中で死なせては申し訳ない」と、母が背負っていた姉と私を交換し、高台小学校まで避難しました。大人でさえ息ができないぐらいの強い風の中、私が生きているのを確かめるために、母は逃げていた途中で、何度も私の足を

つねったそうです。朝になって見たら可愛かった赤ちゃんの足が青黒くボコボコに腫れあがっていて、本当にかわいそうだった、ごめんね、と、何度も聞かされて育ちました。失ったものは大きかったでしょうが、「生きていてよかった」と言ってもらえて、母からは二度も命をもらったような気がしています。

母のふる里「岩内の魅力」

埼玉県鴻巣市在住 伊藤 哲夫



母親の生地である岩内は、ニセコ連山から共和神仙沼を通り、北海道西海岸へと抜ける通りは以前、「硫黄街道」と呼ばれていた時代があった。アイヌ語のイワウ（硫黄の）とナイ（沢）というのが「岩内」という地名の語源である。岩内町は、ニセコ連山のいちば

ん西方に極まるのが、岩内山と雷電山。その山すその、日本海に接する平野部に、岩内の町が拓かれています。明治時代に小樽に次ぐ大きな港が築かれ、鯨魚とスケソウダラ漁で栄え、身欠き鯨やタラコなどの水産加工品が、現在も岩内の名産品となっています。

岩内港の中心地にある「道のいわない」があり、農村、漁村から集まる新鮮な食材が豊富で、寿司、漁師メシ、そして本格スイーツなど、地元の味を楽しむことができます。大小さまざまな店が軒を連ねています。

この地域の歴史、文化、芸術です。古くから漁業で栄えた岩内は、その莫大な富を土台とした芸術文化が根付いている。昭和29年の岩内大火後の復興で神社、古刹、日本庭園などが、荘厳な姿を残している。

この自然豊かな観光地として新たな魅力を再発見させられました。最後に、私は昨年4月に縁あって、ふる里岩内会に入会したからには、岩内会の発展と岩内町の繁栄に尽力したいと思います。



一山本応援観戦記

桶川市議会議員 佐藤 洋

一山本を、応援して相撲を楽しんでおります。

テレビで見ると負けると、次の日はげんを担ぎ、後から結果を祈るように見て、勝って良かったと安堵、負けるとガツカリ！

国技館には、岩内会の松代会長、岩内高校出身の澤口さんのお陰で毎回応援に参加して、勝った時のビールは美味しい一言！

それにしても、相撲界の一勝は重いと思います。例えば1-1の勝敗で1敗すると、次の4日目に

負けると1-3敗になります。それが3日目に勝つと4日目に、負けても、2-2、それが勝つと3勝1敗。当たり前に思いますが、関取の言葉で「この一番に、全力」との意味が良くわかります。

一山本関は、さっぱりしててあっさりしてて、あらっ、て思っていました。最近その仕草があとくされのない、明日の一勝の為に理解できました。もう一つ、一山本関にとっても親近感を感じる

のは、デビュー当時公務員出身力

士と取り上げたことです。私も、公務員出身でも心強い気がしました。普段公務員バッシングで

肩身の狭い思いの中！一度、福島町に就職して、年齢制限の関係で入幕した、賭ける勇気は、ただただ凄く、そして横綱を破る金星を、

夢を実現する一山本関は、子供達に相撲を指導していて大きな夢を描いた英雄だと思います。

金一山本関から、金二山本関へ！頑張れ一山本関後志の英雄！！



【プロフィール】

私は、岩内町で生まれ昭和29年の大火で焼け出されました。当時私は、5歳でしたが大火の逃げたその情景は、鮮明に頭に残っています。母の実家が、田中亀吉という祖父で岩内の町議会議員をやったり、救難所の所長で帰厚院の岩内大仏の寄贈した代表です。私は、現在埼玉県桶川市議会議員で、桶川市役所出身です。母が、生きていた頃 亀吉さんの血はひろしにうけつがれていると、言われました。



故伊野達哉会長との思い出

川崎市在住 岩内高校32年卒業 川端 健一

家が近かったこともあって、子供のころから達っちゃん、健ちゃんと呼びあいながらよく遊んだ。

一番の思い出は、お正月、達っちゃんの家でのかるた遊び。百人一首の下の句だけを読み、下の句をとるというもの。それが北海道独特のやり方であるというのを

知ったのは東京に行ってからである。それから、達っちゃん家の船に乗せてもらい、雷電に遊びに行つた事も忘れられない。

昭和29年の岩内大火の時、岩内高校の1年だったが、達っちゃんの家も僕の家も焼けなかった。岩内高校は焼けなかったものの、授業の再開は何時か分からず、達っちゃんの小樽の高校へ転校した。そして、2人とも大学進学のため上京した。

その後、達っちゃんとは暫く会う機会が無かったが、学生岩内会のようなことを始めていると人づてに聞いた。達っちゃんが岩内会の会長に就

任すると決まった時に、手伝ってほしいと私に連絡があり、会報作成に加わることになった。

達っちゃんは私と違って兎に角、岩内の人脈にも詳しく顔も広い。しかも岩内大好き。身体じゅう岩内で趣味岩内会だっと思う。

岩内会だけでなく北海道連合会の会長も歴任されたが、そのすべの任期を終えたあと、あれだけ大好きだった岩内・北海道との縁が切れてしまい、魂が抜けたようにながっくりきた様子だった。

岩内会だけでなく、同じ頃、岩内は勿論、東京、札幌に住んでる人たちに声を掛けて中学のクラス会も立ち上げたり、仲間集めも大好きだった。人を集めるのが好き、というか人たらしであったと思う。同じ世代だけでなく年寄りたちにも人気があり年寄り殺しでもあったと思う。

俺も間もなく、そっちへ行くからまた酒でも飲んで岩内の話でもしようよ、達っちゃん。



新役員紹介 役員就任ご挨拶

国分寺市在住

高橋 りょう子

この度、「ふるさと岩内会」の役員に推薦いただきました高橋りょう子と申します。活動内容について未だ理解できていないことも多々ありますが、松代会長始め、諸先輩の皆様についていきながら、一生懸命努めさせていただきますのでどうぞよろしくお願致します。

離でタオルを羽織って走って行けたものです。少し寒くなってきたなど感じる秋口には、店先に大きなお釜でさつまいもを蒸して売っているお店がありました。木製の重たい蓋を開けると湯気の向こうに黒胡麻のかかったさつまいもが並び、ほくほくと甘くてとても美味しかったことを今も秋になると思い出します。冬の体育はスキー。又、教室ではだるまストーブの湯

沸かし器に牛乳瓶を並べて、温め給食時にはみんなで温かい牛乳を飲ませてもらいました。たまに瓶の底が割れてしまうものがあり、牛乳瓶が入浴剤に浸かっているような光景でした。そうした優しい大人たちに見守られて成長し、卒業後は札幌へ。進学、就職の後、ご縁があり上京。子供を連れて帰省した際、私を取り上げて下さったお産婆さんにご挨拶するとご長

男さんが東京に住んでいることをお聞きし帰京後、早速訪問。「ふるさと岩内会」への誘いに千葉県に住む兄と一緒に入会いたしました。毎年、恒例の総会に参加する度、先輩たちが岩内町出身の誇りをもって夫々の分野で活躍されている姿に感動するばかりです。更に46年間もの長きにわたり仲間の皆さんと岩内会を発展させて来られました。今回、役員就任にあたり、少しでもそのご恩返しができるかと引き受けさせていただきました。微力ではありますが、どうぞよろしくお願いたします。

羊（ひつじ）に誘われ再会の輪！笑顔と香りに

つつまれて！新年・赤坂・ジンギスカン！

横浜市在住 事業部長 本村 和也

令和7年2月1日（土）、恒例の新年会が松尾ジンギスカン赤坂店にて開催され、20余名が集まりました。今年はいつもの個室ではなく、ホールに一列に並んだテーブルでの開催。新鮮なスタイルに最初は戸惑いつつも、すぐに打ち解け、ひとりひとりの近況報告をきっかけに笑顔が広がりました。松代会長の挨拶に続き、余市会の福島顧問による乾杯、締めは常盤副会長。3種盛りのジンギスカンと語りあ

で、心も体もあたたまるひとときとなりました。「ふるさと岩内」を愛する気持ちを新たに、親睦を深める素晴らしい新年会となりました。次回のイベントでの元気な再会が今から楽しみみです！



「鯨漬けのレシピ」のご紹介

東京・豊島区在住 家野 加寿子

毎年、新年会でお持ちいただく家野加寿子さんの「鯨漬け」が、成吉思汗のお肉を食べた口にはさっぱりと、とっても合うので、皆さんに大好評。

今回、会報誌上でご紹介いただくことにいたしました。

材料（新年会に用意した量です）
大根 2〜3本

（少し干した方がよい）
キャベツ 3個

身欠き鯨 15〜6本

麹 300グラム

塩 70〜80グラム

漬け方

身欠き鯨は4〜5日前より水につけてふやかす。水は毎日とりかえる。

麹の発酵は説明書参照のこと。つかり方は岩内と寒さが違い、40日程が目安です。



大変な手間暇を掛けて、何時も新年会のために用意して下さっているのに頭がさがります。改めて感謝いたします。



2025年観桜会開催について

東京・品川在住 総務部長 相原 正利

三月二十九日観桜会を開催致しました。当日は、東京ふる里岩内会のメンバーと東京余市会、東京ニセコ会、東京倶知安会の会員の方々をお招きし、総勢三十名で観桜会を開催いたしました。当日は、生憎の本降り目黒川の桜もそこに三菱UFJ池尻クラブで懇親会を開催致しました。お花見の場合、開催日時の選定がとて難しいです。開花見込み、満開時期、天候に関しては天任せ。そして開催当日を迎え本降りの空にガツクリ。それでも年に一度のお花見で笑顔の皆さんにお会いし、元気をいただきました。岩宇・後志地域の話に花が咲き楽しい時間は、「あっ」という間に過ぎます。来年もその次も元気な姿で会えることを願い笑顔で解散です。皆様お元気で、来年こそは晴天の下でお花見を楽しみましょう！



「東京余市会の

国会議事堂参観」参加について

総務部長 相原 正利

六月十日 火曜日 東京余市会主催の国会議事堂参観に参加してきました。

東京ふる里岩内会からは、松代会長、高橋さん、鈴木さん、住吉さん、私の5名で参加しました。十時半に衆議院第一議員会館に集合し、今回担当の東京余市会常盤さんはじめ東京余市会メンバーの小川さん、福島さん栗原さんそして東京ニセコ会 菅原会長と合流。その後、ニセコ町出身の衆議院議員逢坂誠二議員が挨拶にみえられました。逢坂議員との挨拶後、国会議事堂参観の始まりです。国

会議事堂参観に関しては、余市町出身の衆議院議員 中村裕之議員の秘書の高橋さん、栗原さんにご案内いただきました。

天皇陛下が国会開会式などで議事堂に臨御された際に休息される「御休所」や、国会議事堂の中心に位置する中央広間あり、2階から6階まで吹き抜けになっており、天井までの高さは32・62メートル、法隆寺の五重塔がちょうど入るほどの高さです。中央広間には、ステンドグラスがはめ込まれた天井と窓があり、自然光を取り入れています。

また、中央広間の四隅には、国会開設に尽力した伊藤博文、板垣退助、大隈重信の銅像が立っています。そしてNHKの国会中継でもおなじみの衆議院本会議場を見学しているときに、余市町出身の衆議院議員 中村裕之議員もお見えになり、現在の後志地区で進められている高速道路、北海道新幹線などの現地の状況などお聞きしました。最後は、食堂で昼食を食べ、全員で記念写真を撮り解散で



す。

今回の国会議事堂参観を通じ岩内会以外の方々とも交流を深められ大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

今後も近隣のふるさと会の方々とも是非交流を深めていきたいと思っております。



産直フェア報告

古河市在住 副会長 今 慶 範

北海道ふるさと会連合会主催「第28回北海道産直フェア」が東京都渋谷区の代々木公園で、令和6年10月3日～6日の4日間で開催されました。

今回はここ数年の開催時と大きく異なる点が2点あります。

一つ目は天候要因。前回、前々回と非常に天候に恵まりましたが、今回は4日間とも曇り又は雨となり、連合会情報では来場者は前年の約74%とのことでした。特に大きい雨降りの週末5日（土曜日）が終日雨降りとなり、販売の足を引つ張られました。

二つ目は岩内町役場からの人的派遣をいただいたことです。観光経済課商工振興係の荒木係長は10月2日の産直フェアの荷受け準備作業段階から終日ご協力をいただきました。又、10月4日には木村町長と佐藤建設経済部長が東京出張時の合間を利用して、岩内会のテントにご来場いただき出店販売状況を確認していただきました。さらに、木村町長には販売実演もしていただき大変盛り上がりしました。

岩内会の販売品目は従来より海産物（冷凍品）が中心でしたが、今回はそれらにプラスして乾物類や加工品をプラスする試みも行いました。販売商品の調達にあたりましては、北緯43度・一八興業水産・宮下水産・高橋商店・佐々木水産・山下水産・倉島乳業・たつや菓子店等ご協力をいただきました。産直フェアでのミSSIONの一つに観光大使としての活動があり、商品販売を通して首都圏の方に岩内町をアピールしております。今回は荒木係長に実態を見ていただきましたので、産直フェアでの感想を次に紹介させていただきます。

産直フェア初参加！関わらせていただいた皆様に感謝を！

岩内町建設経済部観光経済課商工振興係 係長 荒 木 智 弘

昨年10月、私は東京代々木公園で開催された「第28回北海道産直フェア」の東京ふる里岩内会（以下「岩内会」）が運営する物販ブースの支援要員として参加し、会の活動の一端に関わらせていただきました。会場に到着するやいなや、慣れない環境に戸惑う私、岩内会の皆様から発せられる歓迎ムードのおかげで不安は払拭され、いただいた岩内会ポロシャツや千客万来の招布を身につけ、いざ産直フェア本番へ。岩内会の販売ブー

スには岩内出身のお客様が多数来店され、その他、たら丸好きが高じて来店された方など、様々な形で岩内町に関わりを持っていただいている方々との会話の機会を得られ、普段の業務では味わえない貴重な経験をさせていただきました。

重要かを認識することが出来ました。素人料簡ではありますが、やはり視覚や嗅覚などへの感覚訴求が及ぼす消費者行動への影響を考慮できているかどうかの一つの分水嶺になるのではないかと感じたため、次回の産直フェアまでに私なりに岩内会の販売ブースをどう盛り上げていけばいいのか、微力ながらお力添えさせていただきますと考えております。その際にはまた諸先輩方のご指導を賜れば幸いに存じます。

他方、今度は来場者目線で会場内を散策してみると各販売ブースにおける誘客の工夫や取り組みを観ることができ、購買心理における「認知」「興味」の部分が如何に

重要かを認識することが出来ました。素人料簡ではありますが、やはり視覚や嗅覚などへの感覚訴求が及ぼす消費者行動への影響を考慮できているかどうかの一つの分水嶺になるのではないかと感じたため、次回の産直フェアまでに私なりに岩内会の販売ブースをどう盛り上げていけばいいのか、微力ながらお力添えさせていただきますと考えております。その際にはまた諸先輩方のご指導を賜れば幸いに存じます。



木村町長も笑顔で販売。自らお客様に手渡し、岩内をPR。



岩内町役場からの荒木係長も加わっての気合の入った集合写真。

望郷

元東京ふる里岩内会会長 中村尚武

昨年9月、岩内大火復興七十周年の記念式典が町主催で盛大に行われた。

(狂火)

台風十五号は、折からの暴風を伴い海難史上特筆される青函連絡船を襲い、それを転覆せしめた。そしてその勢いは衰えること無く、夜陰に乗じて岩内町の中心部を焼き盡し、剩え、港に係留中の漁船の尺くを奪い去った。罹災者一万七千人、行方不明者三十八名、あまりの犠牲者の大きさと、空虚と化した黒焦げの街の前に、町の人々は唯茫然とし涙は枯れた。

当時、私と弟はまだ学生で親の仕送りに頼る身であったが、火柱の空を飛び交う烈風と焔を浴びながら逃げまどう老いた父母を想うと今でも心が痛む。

故郷には鯨漁最盛期折、唯一の娯楽として三軒の映画館があったが、その中でも二葉座は廻り舞台装置を有し、照明器具その他映画上映は勿論、演芸、歌舞伎上演にすら耐えられる、地

方では屈指の劇場であった。今回はここで見た映画「望郷」の記憶を辿って記述を進めてみたいと思う。

(望郷)

前科数十犯という凶悪犯ジャンギャバン扮する中年男ペペルモコは、フランスを追われアルジェ（アフリカ）に逃亡、カスパで早くもそのボスに納まる。勿論、本国から逃げ込んだ男の逮捕に刑事達は目の色を変えたが、今は何と自由な権力と財力、加えて恰好の迷路の町に生きる男に手出しの出来る隙はない。それがふと故郷パリーからやってきた女ギャビーとの出会い、そしてその魅力に引かれての密会：やがて別れの時がくる。彼女が高い汽船のデッキから見下ろす岸壁に、十重に張り巡らされた非常線の中を、ペペ

ルモコは単身丸腰のまま接岸の汽船に向かって近づいていく。終幕は、かなわぬ恋の結着として女の魅力とその愛に飢えた我が身を精算しようというのか。否。画面は更に追及する。男の

脳裏に去来する女の体臭の中に、秘めた忘れられぬ故郷の匂い。そして幼き日の赤い糸で結ばれた折々の人間模様がオーバラップする。手首に絡む手錠の冷たさの代償にふさわしい、愛と罪との相克の狭間にゆられながら、男は故郷に向かってその死を決断する。

「望郷」という言葉を聞かなくなつて久しい気がする。然も、何かこの言葉を口ずさみながら或る照れくささを感じるのほどうしたことであろうか。そして、美しくも手垢にまみれた言葉が、又ひとつ死後の仲間入りとして消え去る失望感をふと思う。欲求するものは、即時、容赦なく入手しようとする直截的社会構造の仕組みの中にあつて、抱いていた故郷への遙かな距離感の喪失、心の奥底に巣食うそれ等想念との乖離をどう処理すべきなのか、正直戸惑いを感じる昨今に気付く。

(失われるもの)

旧友の死の知らせが続く。連絡無しで然も数カ月を経ての報せもある。勿論死に直面しいちいち周囲に挨拶廻りの余裕などあろう筈はないが、それにしても同郷仲間との離別の寂寥感は何としたことであろうか。風化

していく記憶の中で、断片的ではあれ、刻明に記憶する交会、その厚密な情感に加わる懐旧の想いが心の中に突出する。

林立する高層ビル街に空を失った都会の異様さがある。取り残された街路樹が暑さにあえぎ、葉を垂れて息をひそめる。そしていつの間にか暦は秋だと云う。それに比べ、故郷の四季はキツパリして潔良さがあった。山も川もそして海も。それだけに表情豊かに我々を育んでくれた幸せを想う。そしてそれ故にこそ対する仲間との交会に内在する手触りに故郷の鼓動を嗅ぎとることができた。

現実の故郷について、も早私には語る資格を有しないが、想念の故郷の「望郷」という残像から発酵したゆるぎない想いが、核となつて私の心の中に巣食っていることに気付く。

そして、かつて映画を見終わる、外套を頭からかぶり、雪降りの音絶えた青春の故郷の夜と、今は已に無い多くの仲間たちの姿、そしてそれを取り巻く風景の輪舞が、私の心象風景の中で、故郷こそ心の巡礼路の一番札所であるような気がしてならないのである。

第47回 東京ふる里岩内会総会 開催のご案内

東京ふる里岩内会総会を以下の通り開催致します。会員各位のご参加を頂き盛大に行いたいと考えておりますので、ご連絡をお待ち致します。

日 時：令和7年11月8日（土） 場 所：アルカディア市ヶ谷（私学会館） 電話 03-3261-9921
受付開始：午前11時30分 JR・メトロ有楽町線・南北線・都営新宿線 市ヶ谷駅 徒歩2分
総会・懇親会：12時開始 午後3時終了予定 会 費：懇親会費 10,000円(年会費未納入の方3,000円お受け致します。)

年間行事予定

- 1 令和7年度総会・懇親会 令和7年11月8日
- 2 新年交礼会 令和8年2月上旬
- 3 観桜会 令和8年3月下旬
- 4 北海道フェアin代々木 令和7年10月2日～5日
- 5 一山本関相撲応援ツアー 大相撲東京場所開催時

興味のある方は、事務局までお知らせください。

詳細決まり次第、ご連絡致します。

【新入会員】

加入時期	会員名	お住まい	岩内との関わり
令和6年	田中留美子	東京都新宿区	岩内高校昭和57年卒業

事務局からのお知らせ

◎「東京ふる里岩内会」は、会員各位から振込頂いた貴重な年会費で運営しております。

今年度から、事業年度当初に年会費を頂き、健全で円滑な運営をすべく五月上旬に、「年会費支払時期変更（お願い）」と振込用紙を送付し振込を頂いておりますが会員の約2割の方々が振込みを忘れていらっしゃると思われま

すので、今一度ご確認頂き振込対応をお願い致します。なお、不明な点がありましたらご面倒ですが、事務局までご連絡願います。

訃報

山口 武照様
諏訪 友久様
工藤 弘芳様
伊野 達哉様

心から冥福をお祈り申し上げます。

☆年会費 三〇〇〇円
☆振り込み番号
【〇〇一四〇一四一七〇一九〇三】
東京ふる里岩内会

☆問い合わせ先
事務局長 高松
〇九〇一六九九一六〇二〇

北海道産直フェアのご案内

今年も10月2日（木）から10月5日（日）の4日間、代々木公園イベント広場（代々木公園B地区）で第29回「北海道産直フェア」が開催されます。岩内会では今年もスタッフ一同たら丸ポロシャツを着て皆様のご来場をお待ちしております。

ご来場ご無理の皆様には、本会報に同封の予約表でのご連絡いただければ、着払いとなりますが、会場から送付する事も可能です。ご検討の程宜しくお願い致します。

会員皆様の多数のご来場をお待ちしております。又、産直フェアのお手伝いできる方は、ご協力の程、宜しくお願い致します。



たら丸のポロシャツを目印に。

編集後記

この会報が皆様のお手許に届く頃には、暑さも一段落して居るでしょうか。暑い夏でした。汗をかきながらの一本本の活躍に拍手喝采の嬉しい夏でもありました。今年も無事、会報をお届けできたことを嬉しく思っております。寄稿下さった皆様にはお礼申し上げます。中村元会長には、毎回、時宜にあった、何度か推敲を重ねながらの格調高い原稿は、会報の充実さを物語っております。故伊野会長と幼馴染の川端さんには、何度も電話で推敲を重ねながらの原稿になりました。伊野会長もあの世で喜んでいらっしゃると思います。十月の産直フェアで、又十一月の総会・懇親会でお目にかかれるのを楽しみにしております。Y・M